



***** ご挨拶 *****

委員長 中村 克宏

来年は本連盟ができて20年の節目の年になります。「継続は財産」といいますが、まさに我が連盟は大きな財産を作り上げつつあります。多くの会員諸氏のご協力とご努力の賜物と感じ入っております。連盟発足当時2,3の特定プレーヤーしか表面に出てこなかった高齢（当時は45歳以上のベテラン）テニス愛好者の次第に増加して行く様子が実録として残されている「会報（第1号から今回の第36号まで）」も当連盟の財産の一つであり、80歳以上の会員を9名も含んだ、女子55歳以上、男子60歳以上総勢300人という「会員数」も連盟の誇りであります。次年度の会報37号には各年代層から幅広い内容の原稿が集まることを期待しております。事務局あるいは運営委員宛てに早く頂いて結構ですのでお願いしたいと思います。競技等に関してもご希望、ご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

現在、本連盟は宮城県テニス協会の下部組織となり青木委員が協会の常任理事を務めています。県テニス協会で70歳以上のクラスの競技が行われているのは“ねんりんピック”に限られています。高橋幹事は早い時期から日本テニス協会ベテラン部門～東北支部～宮城県支部～本連盟の流れを作る努力をされてきました。しかし、現在宮城県テニス協会～本連盟の繋がりは出来ましたが全国的に見て各県のテニス協会の下部組織として高齢者部門が取り込まれている例はあまり多くないようです。したがって、県同士の横の連絡がとりにくく、日本テニス協会～各県高齢者グループの縦の連絡、意見の反映が必ずしもスムーズにいっていないように思われ、我々年代の者にとって少し不満の残るところです。

高齢者テニス愛好者はその指向するところが少なくとも3つあるのではないかでしょうか。1つ目は競技会指向、2つ目は旅行等付加価値を伴うテニス指向、3つ目は手軽に楽しみたいテニス指向で、割り切ってこの中の1つだけに拘る人は少数派であると思います。しかし日本テニス協会関連の公式戦は文部科学省、ねんりんピックは厚生労働省という行政上の違いがあり、前者は日本のテニスのレベル向上、後者は福祉を視野に入れており、これらがテニス試合の企画、運営に色濃く反映されています。高齢者テニスを全国レベルでどう考えていくかを難しくしている事情がこの2つのテニス試合の内容の差に端的に表されているように思われます。本連盟ではこれら3つの要素を年間行事の中に均等にというわけにはいきませんが取り入れております。ご不満もあるかと思いますのでこの点に關しましてもご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

最後に個人的ではありますが本年の努力目的です。従来仙台以外の高齢者情報が非常に少なく、これを、例えば仙南地区、仙北地区のようなものが出来てそこからの情報提供、仙台市以外での試合の開催等で変わっていけばよいのではないかと思います。数年かかるかも知れませんが組織の上部への繋がりとともに下に根を広げることも大事なことと考えます。これに対してもご意見を期待しております。

目 次

★ 委員長挨拶	委員長 中村克宏 1	★ ねんりんピックに出場して 但野久雄 4	★ テニス界の暮れ話 岩田 雅 8
★ 総会報告	副委員長 和田忠彦 2	★ MVTFに感謝 士生 寛 4	★ 会員名簿
★ 平成16年度行事報告・決算・予算報告 2	★ 青葉マークのテニス大会始末 佐藤 信二 5	★ 連盟規約 19	
★ 東北マスターズに出場して 石井好子 3	★ 対いわきVTC戦報告 佐々木宏昭 5	★ 16年度三大大会優勝組一覧 20	
★ 60歳からのラケット 佐藤富男 4	★ 県テニス協会の普及活動 青木 勿一 6	★ 平成17年度行事予定 20	

平成16年度

総会報告

副委員長 和田 忠彦

このところ年に一度の総会は、12月第1土曜日に定着した感があります。16年度総会も昨年12月4日(土)午後5時よりリトルグリーンを会場に、参加者56名(内委任状9名)によって開催されました。

総会次第に従って、I、開会の辞(和田副委員長)

II、委員長挨拶(中村委員長)

III、審議

①「平成16年度行事報告」(佐々木競技委員)

の詳細は別掲「平成16年度年間行事報告」を見ていただくことにして、その他の催しについては、9月に行われた「対いわきVTC親善試合」において、いわき側29名、連盟側38名が参加し、テニス対抗戦と懇親会双方とも楽しい一時を過ごすことができたこと、18回に及ぶこの親善試合において今回初めて連盟側が勝利したのは特記すべきであること、次年度開催地は「いわき市」であること。また、秋田県雄和町立公園テニスコートで開催された東北テニスマスターズ大会には、連盟会員30名(男子14名、女子16名)の参加があり、いずれも好成績を収めたこと、次年度開催地は、青森市「青い森運動公園テニスコート」、期日は9月の予定であることが報告されました。

引き続き、②「平成16年度会計報告及び会計監査報告(石塚会計委員、菅野会計監事)」がありました。会費減額(単独会員3000円→2000円、家族会員4500円→3000円)による収入減を受けての緊縮予算執行の結果は、別掲「平成16年度決算報告書」の通りであります。尚、支出の部「その他」の主たるものは、「連盟旗」製作費、「新レプリカ」購入等が含まれていることが補足説明されました。また別会計「平成16年度競技会収支報告」も合わせて一括審議の結果、①②と「平成16年度競技会収支報告」は承認されました。

次に、③「平成17年度行事案」④「平成17年度予算案」について一括提案を受け、審議いただいた結果、別掲「平成17年度年間行事表・予算書」通り満場一致承認されました。

最後に、中村委員長から⑤「平成17年度運営委員及び会計監事」については、平成16年度通りお願いする旨報告され、改めて20名の役員の自己紹介があり、参加者の大きな拍手でご承認いただきました。

懇親会は、嶋田 鼎会員の「乾杯の挨拶」で始まり、土生 寛会員の「締めの挨拶」まで、予定した2時間の懇親会がとても短く感じられました。その間、「WEEKDAY交歓会」唯一の皆勤者、郷右近勝子会員の皆勤賞の授与、奈良会員のリコーダー演奏、恒例のお楽しみ抽選会が女性運営委員によって賑やかに行われ会場を沸かせました、本年度は緊縮予算ではありましたが、懇親会参加費は、昨年度より1000円安く、その上フランス料理の中身などは事務局の配慮もあってか、昨年に増して良かったとは参加者の感想です。宴が最高潮に達した頃、午後8時をもって定刻通り散会となりました。

平成16年度

みやぎいきいきテニス連盟行事実績

期日	行 事	会 場	参加数
01/27	WEEKDAY交歓会	SS	62
02/27	WEEKDAY交歓会	SS	66
03/27	室内ダブルス大会	SS	82
04/15	WEEKDAY交歓会	MN	49
05/15	年齢別ダブルス大会	NK	71
05/18	WEEKDAY交歓会	MN	31
06/08	WEEKDAY交歓会	MN	雨天中止
06/19	混合ダブルス大会	SS	64
06/24	WEEKDAY交歓会	MN	36
07/15	WEEKDAY交歓会	MN	24
09/04	技量別ダブルス大会	NK	70
09/16	WEEKDAY交歓会	MN	41
10/05	WEEKDAY交歓会	MN	雨天中止
10/15	WEEKDAY交歓会	MN	31
11/05	WEEKDAY交歓会	MN	3
11/14	連盟祭り	NK	85
12/04	総会 懇親会	RG	56

会場記号:

SS; シエルコムせんだい MN; 宮城野原県営コート
NK; 七北田公園コート RG; リトルグリーン

上記一覧が、平成16年度に開催されました連盟行事の内容です。WEEKDAY交歓会が降雨のために二回中止になりましたが、その他は予定通り順調に終了出来ました。シエルコムせんだいを会場とする会は、天候に左右されずプレー出来るこもあって好評でした。

WEEKDAY交歓会やその他の大会もシエルコムせんだいを会場にとのご要望が多数ありますが、会場の予約

が予定通り出来ずしております。

連盟製作の「防眩幕」が効果をきたしたのでしょうか、仙台市が立派な「防眩カーテン」を作製してくれました。連盟自作のものとは比較できなくらい立派に設置してくれましたが、「公費で作るのなら、もう少し長めにして下方からの光りの浸入も防いでくれるようなものがよかったです。」とは、多くの皆さんの感想でした。

第16回 東北マスターズテニス大会

に出場して

石井 好子

今年の暑い夏も過ぎ秋風が肌にやさしく感じられる良い季節がやってきました。まさにテニスの秋というこの10月、出発の二、三日前からしとしと秋雨が降つてなかなか太陽が顔を出してくれませんでした。

私達は6日朝5時30分仙台発で秋田へ向かいました。途中雨はなかなかあがらず、「今日出来るのかしら。」なんて心配しながら秋田へ車を走らせました。しかし、天の恵みか、日頃の行いがよっぽど良いのでしょうか?コートに着いた時は雲一つない晴天、風も無く素晴らしいテニス日和でした。

私達は110歳組にエントリー。ドローを見て、一、二度戦った事のある方、今日ははじめて戦う方・・ワクワク・ドキドキでした。あちらこちらで、「しばらく。」「元気だった?」なんて声が飛び交っていました。今朝までの雨はどこへ行ってしまったのでしょうか。本当に秋晴れのテニス日和がスタートしました。

「サー、頑張ろう・・・」

思えば、テニスを始めたのは末娘が幼稚園に入園し、ちょっと何か運動でもと始めたテニススクールがきっかけでした。あれから何年? 全然上達しないし、止めてしまおうかなと思ったりと心搖らぐ日々でした。スポーツは歳をとれば無理、特にテニスはハードなスポーツの一つだと思っていました。しかし、70、80歳になられる諸先輩方が大勢いられるのを見て、これはただただプレーだけではなく、終わった後の楽しいお喋りや食事が長続き出来る原因の一つかなと思いました。また、助言してくれる友、いろいろな試合に誘ってくれる友、そんな友がいるからなんとか長続き出来たのだと思います。“楽しいテニス” これが私のモットウです。秋田でもまた楽しいテニスが出来ました。そしてすてきな握手も宮城へ持って帰りました。また来年も楽しいテニスをしに青森へも行きたいと思います。



「花名」当てクイズ

N.O. 1

この会報内の余白欄にある花の名前を当ててください。解った方はハガキを用いて事務局まで。全問正解者にはテニスグッズを差し上げます。締切は6月末日。

60歳からのラケット

佐藤 富男

4年前、休日に友人達が、楽しそうにテニスをしているのを見て、自分も一緒に仲間に入りたいと思い、紹介してもらい、利府・水曜会で週一回、和田コーチのもとで、六十の手習いから始まりました。その後、仙台市の初心者教室や民間のスクールにも通いました。テニスを習い始めて三年が経過し、下手ながらも、ゲームなどに参加できるのではないかと、自分勝手な考えのもと、当連盟に許可を得て会員として加入させていただきました。役員および会員の皆様のご配慮により、WEEKDAY 交歓会や、各種大会に参加させていただいており、誠にありがとうございましたと、心からお礼申し上げます。あまりにも下手なので恐縮しながらも厚かましく、室内ダブルス団体戦をはじめとして、各種大会や、対いわき交流会まで、連盟の一員として、皆様の仲間にいれていただき大変喜んでおります。

混合ダブルス大会では、全くの初出場ながら、Dクラスで全勝し、カップと副賞を受賞いたしました。個人参加で、申込みましたので、役員のご配慮により、経験豊かな梅崎女史とペアを組ませていただき、幸運にも僅かの差で優勝できましたのは、望外の喜びでした。初心者レベルでは、一球を大事にして、よくつないで、安全にということ、を学んだと思います。

ペアとして、ゲームコントロールしていただいた、梅崎さんに、紙面をお借りして、改めて御礼申し上げます。私のテニスのレベルでは、Eクラスがいいところで、改善すべき点は、山ほどあり、数え切れませんが、先人の言葉に、セカンド・サーブは、まさにあなたの実力そのもの、とか、相手をポジションの外へ走らせポイントを取る、飽きるほど、同じ单调な球を打つこと、などが目を引くところです。

高齢者時代がきて、生涯スポーツが叫ばれている、この頃ですが、テニスは最も好ましいスポーツではないかと思われます。

なかなか上達しませんが、汗をかいた後の爽快さが、たまらなく嬉しいものです。青空のもと、サンサンと輝く太陽の光を浴びながら、プレーできることは、このうえない喜びであり、楽しみであります。

シニア万歳、テニスで益々のご健康を！



「花名」当てクイズ

N.O. 2

コスモト

「ねんりんピックぐんま」に出場して

但野 久雄

十月十五日～二十八日の間、宮城県のテニス（60歳）の代表として参加させていただきましたので所見を述べさせていただきます。

団体戦で、七十歳男子一組（太宰、深谷）、六十歳女子一組（佐藤、深谷）、六十歳男子一組（青木、但野）という組の構成でした。

まず開会式ですが常陸宮両殿下のご参列のもと、晴天に恵まれ、前橋の群馬県立陸上競技場で実施されました。全国から集まった一万六千人の数に感激しました。式の後の群馬県あげてのアトラクションにも胸をうたれました。いよいよ十六日は各競技が開始されました。一回戦は福井県との対戦でしたが女子は一勝したものの、男子の方は二敗と力及ばず、やっぱり駄目かと思いましたが次の宮崎戦では女子が一勝し男子六十歳はタイブレークで敗れはしましたが善戦し、なんとかやれるという自信を持ちました。

次の茨城戦は男子六十歳がタイブレークの末、一勝をもぎ取り、次の日の三位グループトーナメント戦へと進みました。トーナメント戦では、広島市のチームを見事二勝一敗と破り、次の京都府戦へと進みました。京都府とはハッキリと力の差を感じ敗れました。成績は以上ですが、特に感じたことは、女子（仙台市のチームは四戦全勝）の力は他県に勝るとも劣らずということでした。男子六十歳はあと一步と思います。男子七十歳はかなりの差があると感じました。

どの程度力の差があるのかが問題ですから、その差を少なくする様、関係者、個人、は努力すべきことを痛感しました。あと八年後には、宮城県で開催されるということですから、今から選手の育成に努力すべきこと思います。他県よりも四倍の選手が参加することになるのですから。

最後に、群馬県あげての心あたたまる歓迎の気持ちに心より感謝申し上げ、所見といたします。

MVTIに感謝！

「140+」の部

土生 寛

第2の職場も終え、好きなスキー・囲碁・ゴルフ等をやりながらも、"テニスをしたいなー"と思っていた。入れて貰えるグループを探しあぐねていた頃、14年真冬に「シェルコムせんだいテニス教室」があつて参加した。

幸運にもそこで、"暫く振りのテニスなので・・・"と

はいえ、上手でテニスに明るい斎藤昭男さんに出会い、それ以来、仲間となって教えて貰っている。(因みに、斎藤さんはA班、私は中間のB班でした。)

更に幸運にも、春の七北田公園庭球場の壁打ち練習場で中村先生と出会い、ラケットのことやスイングのこと等を教えて頂き、更に又、当連盟へ勧誘を頂いたのでした。

そして早速、5月の「WEEKDAY 交歓会」にデビューした。結果は3試合でたった1ゲームの取得。散々でした。(相手をして頂いた方々に申し訳なし)

自分としては、高校時代に一応軟式庭球部所属だったし、40歳頃にはショッピリながらもテニスを楽しんだこともあり、もう少し出来るかと思っていたが、実に甘かった。帰りの道すがら考えた事は、20数年前のスチールラケットから現代版物に即刻買い替えること、又、連盟の行事には出来るだけ参加して勉強しなければという二つでした。

その後、斎藤さんと相談して7人のグループをつくり、ブルドン倶楽部と称して(ワインブルドンに因んで)、その10月から週1回練習してきた(現在は10人。全員連盟加入)。私が一番下手なくせに、他にやる事もあつたりしての練習不十分もあり、皆に迷惑を掛けている現在です。

さて、報告課題の「年齢別大会」のVは、棄権もあり、3チーム間の接戦のV。パートナー光本静夫さん(壁打ちで知り合っての仲間。今秋の秋田の東北マスターズで中村先生と組んで「150+」の部でVに輝いた方)のお陰でした。

かくして今や、テニスは私の生活の中心です。ブルドン倶楽部の素晴らしい仲間と連盟の皆さんとの暖かいご指導に感謝しながら、一層のご指導をお願い申し上げる次第です。

若葉マークのテニス大会始末

(技量別ダブルス大会に参加して)

佐藤 信二

9月4日(土)8時半、私達は七北田テニス場に到着。既にハウス内は、役員や出場者な方々で込み合っていた。知人も少なく、荷物を持ってハウス周辺をウロウロして過ごす。9時過ぎ、中村委員長の簡明な開会挨拶で少し気持ちがほぐれた。次いで、競技説明や連絡の話しも耳に入るようにになり、気持ちが少し落ち着いてきた。Dクラス、男子、混合計5組総当たり6セット先取等々。指定されたNo.2コートに移動して、出場者同士が初めて顔合わせする。いよいよ最初の組の対戦が始まった。私達

は2番目なので、ベンチ観戦している中に緊張感が湧いてくる。私自身、61歳で初めて市民テニス教室で学び、週1回のレッスンを受けて今日に至ったのです。10時私達の出番となりコートに入りました。初めての試合という「若葉マークテニス」の始まりでした。お相手のご夫婦ペアは、意気が合った様子が伺えて、圧迫感をうけてしまいました。サイドも決り、覚悟を決めたつもりでしたが、心臓はドキドキ。一瞬、むかし小学校の学芸会での開幕直前の心境と同じと思ったのです。それから、私達は夢中になって一個の新しいボールを追いかけました。次々と無意識の中で、珍プレー、ナイスプレー? が飛び出しました。時々カウントが分からなくなってオロオロしたりする中でゲーム終了。なんと6-4で勝ってしまったのです。この時初めて落ち着いた気分になったのですから不思議です。その後熱戦が続きましたが成績は3勝1敗でした。私は生まれて初めてスポーツゲームで結果を出したのです。Dクラス第2位の賞品をいただいたのは望外の喜びでした。同時にコートの大部分をカバーしてくれた私のパートナーに感謝しています。漸く終わったという開放感と心地良い疲れを感じた時でした。皆さんのお陰で、貴重な体験をさせて頂いた1日が終わったのです。

今後ともウイークリー交歓会や各種大会に参加して、いきいきテニスを楽しみ、生活に張りを! と考えた次第です。最後に、開会式の後、全員で体操をしたら、雰囲気が盛りあがって良いのではと思いました。

平成16年度

対いわきVTC戦報告

競技委員 佐々木 宏昭

初めに、標記の対いわきVTCとの交歓試合も数えて18回目になることです。お互いに日頃は、それぞれの活動を通じて得たテニス技術をこの交歓大会により、更に切磋琢磨するとともに、親睦を深めることは、大変貴重で、意義深いものと理解しております。

さて、当日の9月11日(土)12日(日)は、下界の天候と違い2日とも霧雨模様でしたが、皆さん的情熱により計画通り実施し快適に楽しむことが出来ました。以下、遠刈田温泉地での熱戦について概要を報告いたします。

第1部のテニス大会で特に考慮した事は、同じ条件の基で競い合いながらも、和気藹々の中で実施出来るようにと、合計年齢同士の対戦とし、男子ダブルス20、女子ダブルス20、混合ダブルス19、合計59試合、30分の時間制限とノーアドによる6ゲーム先取の併用で実

施しました。慣れない要領による混乱もなく、皆さんのご協力により順調に進み、結果として、いわき22勝一
みやぎ25勝・引き分け12試合の成果となり、対いわ
き戦始まって以来の勝利を獲得することが出来ました。

(みやぎの勝利は大分前にあったのでは?と調べて貰いましたが、確たる記録・記憶がありませんでした。)これは地元の利によるチームワークと30分の時間制限により、1ゲームに如何に集中するかが成功したのではと思います。中でも、女子ダブルス+1勝と混合ダブルス+4勝が示すように女性の活躍が顕著でした。有難うございました。

第2部の懇親会、これまた女性軍の活躍に目を見張るばかりでした。例年感じますことに、いわきの皆さん芸達者が実に多いこと! 今年は嗜好を代えてのダンス、あの若若しい足の伸びと、妖しげな腰使いに、拍手喝采を独り占めしておりました。またつい先日までアテネオリンピックが熱戦を繰り広げておりましたが、アトラクションとして、あの感動をもう一度を合言葉に、いわきの皆さんに、ダーツ競技で一息入れて頂いたのも好評でした。

2次会では遅くまで、お互いの健闘の様子と、日頃テニスに打ち込んでいる状況等を語り合いながら親睦を深めました。

こうして2日間に及ぶ親善試合も、二部構成により、夫々の趣旨を存分に達成し、相互の健闘を称えながら、又の再会を誓い終了しました。閉会式の総評で中村委員長から、「今年は特に女性軍の活躍が素晴らしいかった。弹性軍は来年に備え一層奮起しなければ」と檄を飛ばされましたし、いわきの会長さんからは、「みやぎの勝利は、初めてでは。」とお祝いを述べられ、「これで来年いわきで再会するのが楽しくなった。」と期待と激励を頂きました。参加して頂いた皆様と、準備等でご苦労されました委員の皆さんに感謝申し上げます。

次回平成17年の対いわき戦は、いわき側が当番となり会場は「新舞子ハイツ(人工芝コート4面)」で開催の予定との連絡が入っております。開催期日は9月10日(土)、11日(日)の両日で会費は宿泊、弁当、コート代、ボール代込み込みで15000円/人です。詳細につきましては後日ご案内申し上げますが今から今年のテニススケジュールに入れておいて下さい。

★○●◎◆ 年会費納入のお願い ◆◆○●○★
同封しております郵便振り替え用紙を用いて年会費の納入をお願
いいたします。個人会員は2000円、家族会員3000円です。
納入期限は6月末日です。納入済みの方は用紙を破棄下さい。
規約により80歳以上の会員の方は年会費不要です。

県テニス協会での テニス普及活動への取り組み

県テニス協会常任理事 青木 輿一

宮城県テニス協会のテニス普及活動の一環として、現在行われている活動の一端をご紹介し、連盟会員の皆様にも色々とご協力頂きたいと思います。

皆様、ご承知の通り、宮城県のテニス人口は東北では多い方ではあるが、競技レベルはトップではない。全国レベルで通用する人が時々出るもの、複数の人がそのレベルにあることが無く、団体ではポイントを獲得する機会は少ない。このため、体協からの選手強化費は、競技別では常に最低の水準に近いところで推移している。この状況を変え、全国でトップのレベルに引き上げることが、協会として大きな目標である。それには、現在のトップレベル選手の能力向上と併せて競技人口の増加、愛好者の更なる増加を計ることが県内のテニス文化の発展には必要である。

スポーツには色々な面があり、楽しみ方も、それぞれの立場で異なっている。勝つことだけが目的ではないものの、宮城県内のテニス人口の大部分は、仲間内でのゲームを楽しむことを指向しているようで、競技を指向する人が非常に少ない。結果として、各種の競技会が行われても出場する、見に行く、応援する、自分の技術向上の参考にする人は少なく、マイホーム型というか自己満足型のテニスとなっている。

最近になって、仙台市内および各地のテニスクラブ、その他で、ジュニア世代の育成が始まっています。このこと自体は歓迎すべきであるが、いまテニスクラブに通っている子供達の大部分は、親が習わせたいと望んでいる子供達に限られており、才能のあるすべての子供達を含んでいるわけではない。子供達でも、中学校では受験や、部活の関係もあり、継続できない者が多く出ており、成長の途中で空白が出るため選手の育成には問題が多い。また、地域総合型スポーツクラブの構想が各地で進行中であるが、テニスに関して

は、指導できる人が少なく、組織が出来ても人が居なくては実行が出来ないことになる。このため、テニス指導の能力を備えた指導者を、各地に配置して指導に当たり、選手およびテニス愛好者を増やして行くことが、全体のレベルを向上させることに繋がると考られる。このような観点から、テニスの公認指導者の育成が急がれ、平成16年度になんとか実現に漕ぎつけ、進行中である。

県内では、テニスに関するこの講習会は、15年以上前に行われたのが最後で、資格を取った人に対するアフターケアが無く、その後資格の更新を行わなかった人が多く、テニスから遠ざかってしまった人も多い。今後、このようなことが無いよう、指導の場所を確保して、実際に指導の現場を持ちながらそれぞれの能力を発揮して貢えるようにして行く予定である。その為の、第一段階として、現在テニス指導のネットとなっている中学生の指導体制にメスを入れる手始めとして、今年から「中学生のテニス教室」を県協会として開催している。これは、資格を取った人に指導に当たってもらうための体制作りの一つともなる。今後更に、中学校の部活動にテニスを取り上げてもらうか、中学生を含む地域総合型スポーツクラブにテニス指導者として入れる働きかけを行ってゆく予定である。これにより、現在、各クラブでテニスを習っている子供達の多くが、中学校でもテニスを続けることが出来、また興味を持った中学生が早くからテニスを始めることが出来るようになり、中学生の大会をソフトテニス並みに各地で開催できる環境を整えてゆきたい。こうすることにより、テニス人口が拡大し、裾野が拡がることによってトップ選手が出る可能性が増大するものと考えている。

現在有効な体協登録のテニス指導者は宮城県内で教師、コーチ、スポーツ指導員合わせて40名弱であり、今年のC級スポーツ指導員養成講習会に参加した人（当連盟から3名が参加した）を含めても60名に満たない。これは、各テニスクラブのコーチを含んだ数であり、全体では、まだまだ不足している。更に多くの人に指導者の資格を取ってもらい、普及活動に参加してもらいたい。来年度は、色々な行事が行わ

れることもあり、開催は難しいと考えられるが、今後も継続的に開催してゆく予定である。

最近にした、「身につけよう 江戸しぐさ」に、次のようなことが書かれている。江戸は18~19世紀にかけて世界でも有数の都会であり、特に町民の社会は文化的に洗練され、世界的に見て当時の最先端の市民社会を形成していた。その、商人を中心とした社会体制、文化の伝統がバックボーンとなり、明治維新以降の日本の経済、文化の発展があった。敗戦後の混乱の中で、この伝統、文化が失われてしまい現在の混乱につながっていると著者は嘆いている。この中で、年寄りの生き方として次のような件がある。

還暦を迎えると、とことん自分を律する心構えに徹して、まさに「生き」の境地に入るようです。はつらつと、慈しみとユーモアをもって最後まで世間と関わり続ける精神に、江戸しぐさの温かくも強靭なエネルギーを感じる。

1. 若者をどれだけ笑わせたか

1. 若者をどれだけ立てたか

1. 若者にどれだけ智恵を伝承したか

一人でも多くの若者を育てることがお年寄りの評価基準になったようです。

我々、いきいきテニス連盟の会員もテニスを自分で楽しむだけではなく、色々な形で、スポーツの楽しさや、技術を子、孫の世代に伝えて「粹き」たいものです。ヨーロッパの人口の少ない国からも世界のナンバーワンが出ているのを、眺めているだけでなく、我々の身近から、日本のナンバーワンでなく世界のナンバーワンが出ることを夢見て身の回りから、始めてみませんか。

※※※※※※※※※※※※※※※※※



「花名」当てクイズ
N.O. 3

テニス界の零れ話あれこれ

嶋田 鼎（萩庭会 東北支部長）

テニスはいつ頃、どんな風に始まったか

テニスは相手陣地にボールを打ち込むという闘争的なもので、バレー・ボール、ピンポン、バドミントンなどと発生史的に親戚関係にあり、狩猟民族から発生して来たスポーツと考えられる。

現在のテニスに似たスポーツの起源をたどると約600年前のフランスで行われていたボーム（手のひらのあそび）という球技が始まりとする説が有力である。フランスで生まれ、全ヨーロッパに普及したが、近代テニスとして開花するのはイギリスに渡ってからといわれている。

（テニスの源流を求めて：テニス文化史：いずれも大修館書店 他）

日本で一番最初にテニスをした人は誰か

庭球百年（講談社）によると横山愛輔が渡米中の1880年（明治13年）にテニスプレーし「日本人でテニスをしたのは私が最初でしょう」と述べている。全米選手権が開催される前年である。しかし「明治誌」（中央新書）によると日本庭球発祥の地とされる横浜山手公園内テニスクラブは1878年（明治11年）には設立されているので横浜の方がやや早いようである。

全英選手権は財政難救済策として開かれた

現在隆盛を極める温ブルドン大会も開催の発端はコートの修理費などを捻り出る為に行われた（「0のことを行ふ？」大修館書店）。オールイングランド・クロッキー・アンド・ローンテニスクラブは1870年に創設されたが財政難にあり、その一策として大会を1877年に開催したところ大成功を収め、以後毎年開催本年128回を数える。この歴史ある大会の女子複に昭和50年沢松和子嬢の優勝以来28年振りに杉山が優勝した。また伊達とグラフの激戦も記憶に残る。しかし、曾ては清水、佐藤の他布井、三木の活躍があった男子勢に最近上位進出が見られないのは淋しい。

五輪で最初にメダルを獲得した種目はテニス

第7回オリンピックは1920年（大正9年）アントワープ（ベルギー）で開催され、日本は陸上10名、水泳2名、庭球2名計14名で参加、陸上・水泳不振の中にあって庭球は熊谷が単に準優勝、銀であったが日本人のメダル獲得第1号になった。日本人として二人目は複に熊谷と組んで準優勝になった柏尾である。慶應大は軟式全盛の1913年（大正2年）硬式に転向したが、熊谷

はその時の一人であり、柏尾はやや遅れて硬式を採用した東京高商の選手で共に軟庭の選手であった。因みに日本人金メダル第1、2号は、第9回パリ大会で織田（三段跳び）、鶴田（200平泳ぎ）である。

日本庭球協会はデ杯参加の為泥縄式に設立

日本人の全英、全仏、オリンピックの活躍をみて、米国からデ杯に参加するよう勧誘を受けた。しかしデ杯に参加するには日本庭球協会が国際庭球連盟に加入していくなければならなかった。その為実質は何もないが、仮の庭球協会を作つて申し込んだところ、米国はこれを承諾してくれたので1921年（大正10年）、日本はデ杯国際試合に初参加出来た。翌大正11年3月11日、日本の庭球を統一する代表機関日本庭球協会が設立され基督教青年会館で、出席者は僅かであったが創立発会式が行われた。また出先機関的な組織として関東、関西、九州に支部がおかれた。協会が発足して22年後、昭和16年時局悪化のため解散を決議、関東では11月29日、関西では12月6日解散式が行われた。（協会60年史より）

デ杯初参加、清水はチルデンに勝っていた？

（次頁新聞記事参照）

米国の好意によりデ杯に参加することが出来、初参加乍ら勝ち上がってデ杯保持国米国に挑戦、5-0で敗れはしたが、単の第2試合清水はチルデンに善戦したと一般的には伝えられている。しかしネットジャッジをつとめたフォーテスク氏が死ぬ直前に「あの試合は清水が勝っていた」と告白した。

この告白の信憑性は？

告白が日本のいくつかの新聞にも紹介された為、一時話題になったが、フォーテスク氏は架空の人物であったのか？ 1927年（昭和2年）全仏選手権チルデン対ラコストの決勝戦、ファイナルセット9-8、40-30でチルデンはサーヴィス・エースを決めた。握手の為両者がかけより始めた瞬間、ラインズマンがフォールトを宣告、結局これを契機にチルデンは敗れた。この実話を真似て舞台と登場人物を変え、ラインズマンをネット審判にしてTV解説者コリンズがストーリーを創作、1973年（昭和49年）ワールド・テニス4月号に掲載した？（やわらかなボール：文芸春秋）

この試合を見ていた熊谷氏は

単第1試合の熊谷氏は枯草病感染の為簡単にジョン斯顿に敗れ、第2試合を見守っていた。清水6-2、6-4、40-40になった（40-30というマッチ・ポイントの場面はない）。清水がチルデンをネットに釣り

テニス雑誌の盛衰

未だ雑誌の存在しなかった昭和44年4月、大勢の人々にテニスを理解して貰おうという理念をもち季刊「モダン・テニス」が誕生した。しかし翌年45年「テニスマガジン」、49年「スマッシュ」が刊行されるに及び昭和50年惜しまれつつ廃刊になった。その後チャンピオン・テニス、テニス・サークル、テニス・ライフ等出版したが、現在テニス・クラシック(昭和55年5月創刊)他4~5誌健在のようである。

戦時中邦語化された用語

1 施設：コート面(競技面)、サイド・ライン(側線)、ベース・ライン(底線)、センター・マーク(中標)、ラケット(打枠)、ガット(張糸)、ネット(網)、

2 審判：ポイント(点)、ゲーム(元)、セット(節)、サーバー(発球者)、レシーバー(受球者)、アウト(線外)、フォールト(外れ)、トス(奉)、パートナー(組み手)、フットフォールト(踏み越し)、

3 技術：イングリッシュグリップ(縦持ち)、ウェスタングリップ(横持ち)、イースタングリップ(斜持ち)、スピンドル(回転)、グランドストローク(弾み打ち)、ボレー(宙打ち)、スマッシュ(打ち込み)、ロブ(揚球)、ドロップショット(落球)·····

(日本テニス協会60年史)

「白球を追う」という言葉は死語になるのか？

昭和20~30年代頃までテニスの服装は白いポロシャツ、白い長ズボン(国際試合でも)、白いボール、木製のラケットにコートはクレーと相場が決っていた。ガットは1本切れた位では絶張り替えせず、部分張り替えをして又使った。ラケットはプレー終了後変形しないように木枠で固定した。ボールは文字が見えなくなる迄使わされたが、現在のボールの使い方をみると随分物の豊かな時代になったものと思う。

やがて服装は色彩豊かになり、又ボールは黄色が定番になって久しい。このボールがもし赤なら屈折率が小さいので水晶体が凸を強め、また青なら屈折率が大きいので凸を弱めて網膜上に像を結ぶように調整する必要がある。その点黄色は屈折率が丁度なので水晶体はピント合わせの必要がないという色彩学に基いている由。しかし白球なら色彩学的にどうかについては触れていないし、また軟式は何故この良いという黄色を採用していないのか疑問が残る。ピンポン球も然りである。

(スポーツの大疑問：PHP文庫)

語源について

テニス

Phennis(ギリシャ語)、Tenniludim(ラテン語)、Tanz(ドイツ語)、Tenerre(イタリア語) Sennois(フランスで初めてボールが作られた場所)、Tinnis(ナイル、デルタの地名)などあるがフランス語の Teniv の命令形 Tenz(打ちなさい)からというのが有力。

(テニスの科学：九州大学出版会 他)

ラヴ

フランス語で oeuf(卵)に定冠詞 le をつけた luff が変化したという説が有力だが、loveにはもともと nothing 又は zero の意味があった(死語)、やはり死語になったフランス語の luff(nothing)、for love(愛の為に→賭けをしない→ただで→0) の for が除かれたという説、ラテン語の ab(from) ovo(卵)で「卵から」或いは「最初から」の意味で0の代わりに使われたとのこと。

(0のことをなぜラヴと呼ぶの？：大修館) 他

スマースとラフ

トスにフランス語で droit と noeud の言葉が使われたが、英語の cord(網) と knot(結び目)

に相当し、装飾ガット(今は使われなくなった)の網と結び目が転じて smooth と rough になったといわれる。(テニスの科学：九州大学出版会)

ラケット

アラビア語の rāhat(手のひら)に由来するといわれ、テニスのアラビア起源説の裏付けになっている。

(スポーツ語源クイズ55：講談社)

15-30-40(45)について

占星学説：1579年に占星学者ジーン・ガセリンの唱えた説。

チェイスライン説：1885年にチェイスというゲームから来ている。

時計説：1913年に唱えられた。時計の円の60を4区分することによる。

貨幣説：1310年から約100年間フランスの貨幣は「スー」を単位とし、60を基本に分けられていた。

(テニスの科学：九州大学出版会)

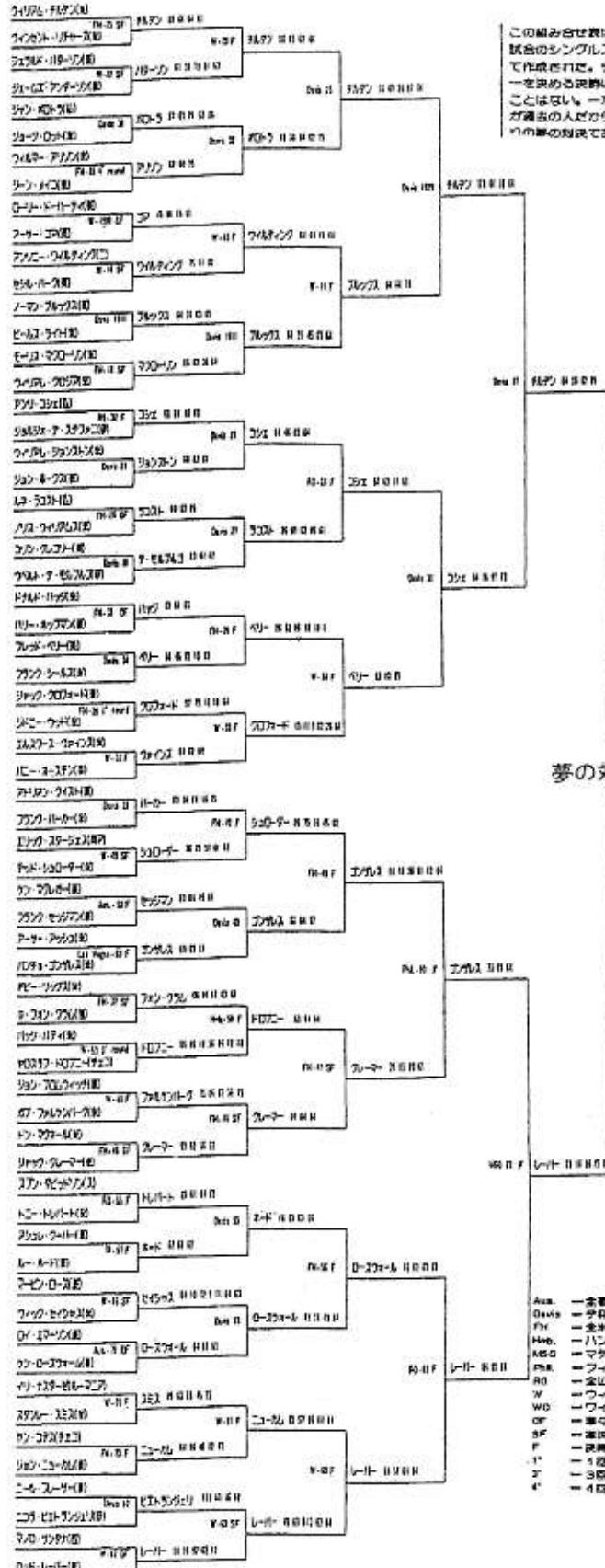
史上最強の選手は誰か

テニスをしている方なら、史上最強の選手は誰かと想像したり或いは論争したことがあるのではないでしょうか。テニス500年(講談社)に載っていました夢の対

戦をここに掲載いたしました。昭和53年の発行なので、男子コナーズ、ボルク、マッケンロー、女子エバート、ナグラチロワ、グラフ以降の選手が載っていません。

* *

男子チャンピオン 世界一



この組み合せ表は国際的なテニス試合のシングルスの成績に基づいて作成された。チャンピオン世界一を決める決勝は決して行われることはない。一方のチャンピオンが過去の人だからである。文字通りの夢の対決である。

夢の対決

興味のある方、アガシ、フェデラー、ヤヒンギス、ヴィ・ナス、マリアを加えて夢の対戦ドローを作成してみて下さい。

女子チャンピオン 世界一



夢の対決

みやぎいきいきテニス連盟

会員名簿

平成17年3月1日 現在



氏	名
青木	興一
青木	美智子
浅野	正司
浅野	由利子
跡辺	清子
阿部	昭彦
阿部	千枝子
阿部	ちづ子
阿部	彦人
阿部	真知子
有賀	吟生
有賀	昌子
飯野	雅穂
池田	穎
池田	洋子
井澤	秀雄
井澤	三幸
石井	好子
石垣	晴子
石龜	幸子
石川	トヨ子
石田	泰子
石田	哲也
石塚	十三一
石塚	猶子
石戸谷	実
石橋	リツ子
伊勢田	恒雄
伊東	清志
伊東	はつ子
伊藤	一利
伊藤	久子
糸井	郁子
猪股	つや子
犬飼	とい
岩井	隆太郎
岩佐	義紀
岩月	賢一
岩月	尚文
岩月	矩之
岩渕	剛也
内山	定男
梅崎	千枝子
海野	哲夫
遠藤	一博
遠藤	慶子
大内	春美

氏名

大賀	延	行
大賀	やす子	
大坂	俊	明
大坂	敏	子
大澤	弘	子
太田	せつ子	
大塚	史	子
大場	幸	男
大谷	昌	子
大山	邦	彦
大山	真理子	
大和田	美	穂
大和田	章	子
岡田	ナナ子	
小川	昌	子
置田	輝	雄
置田	真樹子	
荻原	栄	子
奥井	紀美子	
小野	泰	祐
小野寺	紘	一
小野寺	嘉	郎
小原	和	夫
小原	浩	
加賀	泰	彦
加賀	幸	子
角田	勇	
葛西	宥	清
笠井	洋	子
柏葉	直	子
片平	信	行
加藤	丈	夫
加藤	信	子
加藤	忠	義
加藤	元	浩
加藤	知	子
金澤	隆	機
金子	利	幸
鹿野	邦	彦
鎌田	修	一
紙屋	博	
神山	智	明
河上	毅	
川口	温	弘
川村	正	樹
菅野	桂	子
菅野	義	治
菅野	志津	子
菊地	功	
菊池	克	彦
菊池	迪	夫
北野	寿	一
北野	妙	子

氏	名
北畠	宏
北畠	さと
木下	裕子
木村	多喜雄
木村	行治
木村	むつ子
工藤	和夫
工藤	昌清
工藤	真理子
久保	寿一
桑原	義美
剣持	勝衛
剣持	啓子
郷右近	勝子
小池	泰人
小山	恒男
神松	伊三郎
小閑	美樹子
五島	健雄
小田島	政勝
後藤	清
後藤	栄子
後藤	真一
後藤	玉子
小林	富美子
小山	恒男
紺野	規子
今野	ミチ
西城	啓子
斎藤	昭男
斎藤	セイ子
斎藤	幸枝
酒井	秀章
酒井	倭子
坂本	政祀
坂爪	ミヤ
桜井	信治
桜井	ノリエ
桜井	保雄
佐々木	京子
佐々木	宏昭
佐々木	正敬
佐々木	恵子
佐藤	昭芳
佐藤	千代子
佐藤	信二
佐藤	みつ子
佐藤	勝子
佐藤	克夫
佐藤	良枝
佐藤	富男
佐藤	日出子
佐藤	尚武

氏名

澤	部	喜	彬	
塙	地	惇	一	
塙	地		照	
色	摩	浩	二	
色	摩		美津代	
篠	田	幸	子	
柴	田	教	行	
柴	田	登	子	
芝	村	直	樹	
波	谷	妙	子	
波	谷	陽	子	
波	谷	み	よ	
嶋	田	鼎	子	
嶋	田	圓	子	
首	藤	紀	子	
庄	司	信	雄	
庄	司	勝	子	
上	所		操	
白	根	晴	男	
白	根	早	苗	
菅	原	昭	夫	
鈴	木	総	一郎	
鈴	木	暎	子	
鈴	木	喜久	信	
鈴	木	秀	子	
鈴	木	昭	悟	
鈴	木	東	行	
鈴	木	義	昭	
清	野	利	雄	
閔	根	郁	子	
曾	根	幸	治	
台	野	清	子	
高	橋	捷	夫	
高	橋	重	郎	
高	橋	孝	男	
高	橋	武	也	
高	橋	龍	夫	
高	橋	民	子	
高	橋	恒	男	
高	橋	明	子	
高	橋	哲	太郎	
高	橋	昌	明	
高	橋	洋	二	
滝	本	光	子	
多	久	堯	夫	
田	口		茂	
武	田	義	子	
太	宰	芳	郎	
田	鵠	洋	子	
但	野	久	雄	
館		正	隆	
館		繁	子	
館	内	規	之	

氏	名
田澤	良次
田澤	テイ子
田中	穎
棚橋	美恵子
玉山	豊
玉山	梅子
田村	れい子
丹治	真木子
千葉	鴻二
千葉	俊司
千葉	みちこ
中鉢	不二雄
富谷	芳夫
外山	坦
長沢	仁
長沢	光子
中川	和子
中島	寛
中島	由紀子
中村	克宏
中村	行秀
浪岡	亮
奈良	征一郎
南谷	裕洋
南谷	綾乃
野島	昭敏
野島	かよ子
長谷川	幸子
土生	寛
樋口	義修
樋口	美也子
日高	徹郎
日高	登志子
日野	佑子
平井	正光
平井	郁子
広田	哲二
広野	茂
広野	幸子
深谷	實
福士	レイ
藤澤	多巴夫
藤田	吉雄
布留川	三枝子
星	健輔
星	猛夫
星	将博
星	公子
保志	則行
星川	昇
本野	日出子
増子	達郎
本間	満雄

氏名	
増田	恵子
松尾	美代子
松下	洋子
松山	真水
丸子	和子
丸谷	美智子
三浦	勲
三浦	幸子
三木	武吉
三木	和子
光本	静夫
美村	憲輝
美村	景子
村上	和夫
村上	実
村山	洋之介
目黒	祐子
本林	高利
森	紀彦
守田	忠
八重樫	トモ
安田	勇
矢崎	則彦
矢田	慶治
矢田	吉明
八幡	武始
八幡	順子
梁田	興平
梁田	満寿子
山口	剛
山口	佳子
山崎	由美子
山本	政彦
和田	武士
和田	美代子
和田	忠彦
渡辺	勇
渡辺	貞夫
渡辺	トミ子

「みやぎいきいきテニス連盟 会員名簿」の管理について

会報に同時掲載しております会員名簿には、氏名・電話番号・郵便番号・住所・所属団体名が記載されております。個人情報の悪用等が懸念されますので、勤務先および生年月日は省略しております。念の為、会員各位におかれまして名簿の管理についてご留意下さるようお願い申し上げます。なお、誤字・脱字等がありましたら事務局までご連絡下さい。

宮城県テニス協会 022-292-1300 983-0852 仙台市宮城野区榴岡 2-2-8 コーポ童子 201

東北テニス協会 019-605-6221 020-0833 盛岡市西見前 19-60-1

日本テニス協会 03-3841-2321 166-0002 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念館 4F

みやぎいきいきテニス連盟 規約

総 則

- 第1条 本会はみやぎいきいきテニス連盟と称する。
- 第2条 本会は次に掲げる正会員、特別会員および賛助会員を以て構成する。
- 正会員：宮城県内に居住または勤務する、男子60歳以上、女子55歳以上のテニス愛好者とする。ただし、正会員が県外に転出した場合は本人の希望により正会員の資格を継続することが出来る。
- 特別会員：正会員の中で80歳以上の会員を特別会員とする。
- 賛助会員：本会の趣旨に賛同し、本会の活動を支援する個人及び団体。
- 第3条 本会はテニスを通じて、会員の健康増進と相互の友好をはかることを目的とする。
- 第4条 本会はその目的を果たすため次の活動を行う。
- (1) テニス大会
 - (2) テニス練習会
 - (3) 会報の発行
 - (4) その他、本会の趣旨に沿い運営委員会にて企画されたこと。

会 計

- 第5条 本会の事業年度は12月1日に始まり翌年の11月末日に終わる。
- 第6条 本会活動に必要な経費は正会員の納める年会費、大会、練習会等ごとに徴収する参加費及びその他の寄付金を以てあてる。
- 第7条 正会員は年会費を納めなければならない。ただし、特別会員はこれを免除される。年会費の総額は総会で定める。
- 第8条 運営委員会は年度末に翌年度における諸活動の実行計画およびそれに伴う予算案ならびに、当年度の決算案を作成し、総会の承認を得なければならない。

- 第9条 当年度の予算案に提示されていない緊急臨時の費用については運営委員会の議を経て支出することが出来る。但し、この場合においては次の総会に報告し、総会の承認を得なければならない。
- 第10条 会費の納入期限は毎年6月末とする。納入なき場合は休会扱いとし、以後の通信連絡は行わない。年度内に納入なき場合は退会扱いとする。

役員 および 役員会

- 第11条 本会の活動を組織的に実行するため次の役員をおく。
- 運営委員：本会の諸活動の具体的な企画およびその実行計画を策定実施するため、必要数の運営委員を置く。運営委員の任期は1年とし、前

年度の総会において選出する。再任または重任を妨げないが、原則として引き続いて3年を越えることはできない。

委員長および副委員長：運営委員の互選により委員長1名を選定する。副委員長は運営委員の中から1ないし2名を委員長が指名する。委員長は本会を代表するとともに、第12条に定める役員会を招集しその議長となる。副委員長は委員長に事故あるとき委員長の役を代行する。

幹事：運営委員会が計画実行上必要と認めるときは業務に精通した若干名の幹事を委嘱することが出来る。幹事は運営委員会の議に加わり前年度の総会で委嘱された事項の実務を担当する。幹事の任期は1年とし、再任または重任を妨げない。

会計監事：2名の会計監事を前年度の総会において選出する。会計監事は会計委員の行う業務の監査を行う。任期は1年とし、再任または重任を妨げないが、引き続いて3年を越えることはできない。

- 第12条 本会の活動方針を協議し、実行計画を策定し、また会務を掌理するために次の役員会を開く。
- 運営委員会：運営委員および幹事で組織し、会の諸活動を具体的に企画実施するための協議を行い、かつ、会務を掌理する。

総会：役員を含む全会員で構成し、本会の活動方針の大綱を定め、運営委員会の提示する活動計画案、予算案および決算案を審議する。総会は会員の十分の一以上の出席によって成立する。また、委任状を以て出席に代えることが出来る。

- 第13条 本会の事務を処理するために事務局を置く。

付 則

- 第14条 本規約に定める他、本会の諸活動の具体的な企画実施に必要な細則は運営委員会で定めるものとする。

- 第15条 本規約の改正は総会の議決による。

細 則

- 第16条 平成14年12月1日現在、60歳未満の男子会員および55歳未満の女子会員は正会員として当連盟に留まることが出来る。年齢別大会等の実施内容については、その時点の状況を考慮し、運営委員会において検討を行い善処する。

(平成8年3月26日改正)

(平成9年12月6日改正)

(平成14年12月7日改正)

(平成15年12月6日改正)

年間行事予定表

日 時	行 事 名	会 場	コート面数
1月 26日 (水)	室内ダブルスを楽しむ会	シェルコムせんだい	6
3月 5日 (土)	室内ダブルス団体戦	シェルコムせんだい	6
3月 25日 (金)	室内ダブルスを楽しむ会	シェルコムせんだい	6
4月 14日 (木)	WEEKDAY交歓会	宮城野原公園コート	4
5月 7日 (土)	年齢別ダブルス大会	七北田公園コート	8
5月 19日 (木)	WEEKDAY交歓会	宮城野原公園コート	4
6月 8日 (水)	WEEKDAY交歓会	宮城野原公園コート	4
6月 29日 (水)	WEEKDAY交歓会	宮城野原公園コート	4
7月 2日 (土)	混合ダブルス大会	シェルコムせんだい	6
7月 15日 (金)	WEEKDAY交歓会	宮城野原公園コート	4
7月 27日 (水)	WEEKDAY交歓会	宮城野原公園コート	4
9月 1日 (木)	WEEKDAY交歓会	宮城野原公園コート	4
9月 21日 (水)	WEEKDAY交歓会	宮城野原公園コート	4
10月 5日 (水)	WEEKDAY交歓会	宮城野原公園コート	4
10月 15日 (土)	技量別ダブルス大会	七北田公園コート	8
11月 1日 (火)	WEEKDAY交歓会	宮城野原公園コート	4
11月 5日 (土)	連盟祭り	七北田公園コート	8
12月 3日 (土)	総会・懇親会	未定	
9月 10日 11日	対いわき VTC 親善試合	新舞子浜 (いわき)	4

以上の諸行事の他、例年どおり、東北テニスマスターズ、日本シニアテニス関連大会、宮城県テニスマスターズ春、秋大会等の行事が予定されております。これら行事の詳細につきましては其の都度ご案内申し上げます。

平成 16 年度みやぎいきテニス連盟

三 大 大 会 優 勝 者

大 会 名	種 目	優 勝 組
年齢別ダブルス大会	女子 140 歳以上	武田 義子・石垣 晴子 組
5月 15 日 七北田公園	女子 130 歳以上	鈴木 晴子・鈴木 秀子 組
	女子 120 歳以上	有賀 昌子・郷右近勝子 組
	女子 110 歳以上	木下 桃子・石龜 幸子 組
	女子 110 歳以下	工藤典理子・日高登志子 組
	男子 140 歳以上	土生 寛・光本 静夫 組
	男子 130 歳以上	館内 規之・村上 実 組
	男子 120 歳以上	恒野 久雄・庄司 信雄 組
	男子 120 歳以下	保志 刚行・佐々木宏昭 組
混合ダブルス大会	A クラス	糸井 桃子・和田 忠彦 組
6月 19 日 シェルコム	B クラス	増田 恵子・斎藤 啓男 組
	C クラス	猪股つや子・山本 政彦 組
	D クラス	柳崎千枝子・佐藤 富男 組
技量別ダブルス大会	A クラス	安田 勇・池田 権 組
9月 4 日 七北田公園	B クラス	菊池 功・造藤 一博 組
	C クラス	山崎由美子・斎藤セイ子 組
	D クラス	平井 郁子・平井 正光 組

掲載されました皆さん、おめでとうございました。今後もパートナーの相手あるいは上位ランククラスでの二活躍を期待いたします。

編集後記：*会報 3 6 号では鳴田会員の「大作」を掲載できました。多くの会員の皆さんからの貴重な体験談も集まりました。有難うございました。「委員長挨拶」にもありますように次年度号は連盟創立 20 周年記念特集を組みたいと考えております。全会員からの「原稿（何でも OK）」の掲載を夢見ています。*今年から宮城県内で JOP 対象の 2 大会（E 大会 1、D 大会 1）が開催されます。シニアの全国大会も当地で開催となり当連盟行事以外での皆さんの活躍の場が増えつつあります。*それにつけても、今冬は雪降り日数が多く部屋の中でラケットを磨いてばかりいた感じです。「室内テニスコートがもとほしい」みんなの要望です。シェルコムせんだいや泉 PTTTC のような立派な「ハコ物コート」ではなくて、雨や雪を防げるだけの「屋根付きコート」で十分な気がします。コート周りは防風ネットで OK、耐風性能だけ工夫出来れば・・・シェルコムの防眩カーテンに味をしめて当連盟の次の「ターゲット」は「公営屋根付コート」、「大きな夢を持つ」ことが「若さを保つ秘訣」かも。

編集発行 みやぎいきテニス連盟運営委員会
事務局